

補遺

【資料】

森林遺伝育種学会第2回大会記録

日時：2013年11月8日(金) 13:00~17:15

場所：東京大学農学部キャンパス

弥生講堂アネックス・セイホクギャラリー

参加者数：71名

第1回森林遺伝育種学会奨励賞授与(2名)：

栗田学(森林総合研究所 林木育種センター)

「遺伝子組換え雄性不稔スギ作出に係わる特異的プロモーターの開発」

加藤珠理(首都大学東京 都市環境科学研究科)

「DNAマーカーを用いた日本のサクラの遺伝的特性の解明」

ポスター発表(40件)：

1) テリハボクの枝性の家系間変異

加藤一隆(森林総研林育)

2) 花粉の少ないヒノキ精英樹の挿し木技術の改良と苗の育成-発根促進剤の処理、スギ炭の施用、移植後の成長-袴田哲司・山本茂弘(静岡県森林・林業研究センター)

3) Haplotype distribution of Myanmar teak revealed by newly-developed cpSNP markers

Thwe Thwe Win (The Uni. of Tokyo), Tomonori Hirao (FTBC), Atsushi Watanabe (Kyushu Uni.), Susumu Goto (The Uni. of Tokyo)

4) 薬用機能性樹木の組織培養

石井克明・高田直樹・谷口亨(森林総研・森林バイオ研究センター)

5) ヒノキ不稔個体の探索

齋藤央嗣(神奈川県自環保セ)

6) ヒノキ葉緑体ゲノム解読に向けた効率的手法の開発

柳原尚貴(九大・農)、後藤栄治・田村美帆・渡辺敦史(九大院・農)

7) アカマツ広域産地試験における関西育種場で播種した実生の発芽特性

岩泉正和・磯田圭哉・河合慶恵・村上丈典・篠崎夕子(森林総研林育セ関西)、大谷雅人・宮本尚子・那須仁弥(森林総研林育セ)

8) 関西育種基本区選抜ヒノキ精英樹のさし木苗形態特性の調査

磯田圭哉・岡村政則・笹島芳信・河合貴之・祐延邦資(森林総研林育セ関西)

9) 不織布製人工交配袋はカメムシ防除袋を兼ねるか?

山野邊太郎(森林総合研究所林木育種センター東北育種場)

10) スギにおけるマイクロフィブリル傾角の樹幹内変動と応力波伝播速度・動的ヤング率との関係

井城泰一・三嶋賢太郎・平岡裕一郎・栗田学(森林総研林木育種センター)、渡辺敦史(九州大学)

11) タケバイオリソース、マダケ属とデンドロカラムス属カルスの組織化学的特徴

荻田信二郎・MD. Ziaul Karim・野村泰治・加藤康夫(富山県立大・生物工学研究センター)

12) EST-SSRマーカーを用いたクロマツ・アカマツの雑種識別

平尾知士(森林総研・森林バイオ)、渡辺敦史(九大院・農)

13) ヒノキのさし木の発根率・発根量に与えるさし床の環境の影響

小澤創(福島県林業研究センター)、坪村美代子(森林総研林木育種センター)、渡辺敦史(九州大学)、齋藤央嗣(神奈川県自然環境保全センター)

14) DNAマーカーを用いて芽生えの段階で無花粉スギの家系内選抜を簡単に行う手法の開発

森口喜成(新潟大自然科学)、上野真義(森林総研)、齋藤真己(富山森林研)、樋口有未(元新潟森林研)、宮嶋大介(新潟森林研)、伊藤信治(元新潟森林研)、津村義彦(森林総研)

15) 少花粉スギミニチュア採種園におけるSMP (Supplemental Mass Pollination) の効果

市村よし子(茨城林技セ)、小澤創(福島林研)、坪村美代子(森林総研林育セ)、渡辺敦史(九州大学)、齋藤央嗣(神奈川県自環保セ)

16) スギコアコレクションの遺伝的組成-天然林との比較からの評価-

内山憲太郎 (森林総研)、宮本尚子・高橋誠 (森林総研  
林育セ)、渡辺敦史 (森林総研林育セ、九大農学研究院)、  
津村義彦 (森林総研)

17) ヒメバラモミ遺伝資源林におけるクローン・産地別  
の活着率・成長について

勝木俊雄 (森林総研)、市川隆史 (中部森林管理局)、  
田中智 (山梨植物研究会)、石井正氣 (元林木育種協会)

18) 最終氷期のスギにおける隠蔽逃避地の可能性

木村恵・内山憲太郎・中尾勝洋 (森林総研)、森口喜成  
(新潟大)、Lerma San Jose-Maldia・津村義彦 (森林総研)

19) 集団サイズの減少がケシヨウヤナギ集団の性比と遺  
伝的多様性に及ぼす影響

戸丸信弘・長田光司・林耕太 (名大院生命農)、永光義輝・  
鈴木節子 (森林総研)、松下通也 (秋田県立大生物資源)

20) スギ器官別 EST のデータ解析—DNA マーカーとし  
ての活用の可能性

田村美帆・手島康一 (九大院・理)、三嶋賢太郎・井城  
泰一・能勢美峰・坪村美代子・栗田学 (森林総合研究所  
林木育種センター)、渡辺敦史 (九大院・農、森林総合  
研究所林木育種センター)

21) 遺伝子組換え技術による無花粉スギの作出と形質評  
価

小長谷賢一 (森林総研・森林バイオ)、栗田学 (森林総  
研・森林バイオ、森林総研・林木育種センター)、坪村  
美代子 (森林総研・林木育種センター)、平尾知士 (森  
林総研・森林バイオ、森林総研・林木育種センター)、  
渡辺敦史 (九大院・農)、石井克明 (森林総研・森林バ  
イオ)、谷口亨 (森林総研・森林バイオ、森林総研・林  
木育種センター)

22) スギ次代検定林の解析結果から見た育種区および種  
苗配布区域の妥当性

花岡創 (林木育種センター)、三浦真弘 (東北育種場)、  
平岡裕一郎 (林木育種センター)、武津英太郎 (九州育種  
場)、磯田圭哉 (関西育種場)、千吉良治 (九州育種場)、  
井城泰一・高橋誠 (林木育種センター)、織部雄一朗 (東  
北育種場)、久保田正弘 (関西育種場)、倉本哲嗣 (九州  
育種場)、渡辺敦史 (九州大学)

23) 少花粉スギミニチュア採種園の交配実態の把握と適  
正な種苗生産に向けたマニュアルの作成

坪村美代子 (森林総研林育セ)、中村博一 (群馬県林試)、  
市村よし子 (茨城県林技セ)、伊藤美和子・原口雅人 (埼  
玉県農総研)、西川浩己 (山梨県森林総研)、小澤創 (福  
島県林研セ)、齋藤央嗣 (神奈川県自環保セ)、渡辺敦  
史 (九大院農)

24) 関東育種基本区におけるスギ精英樹の次世代化への

展望

平岡裕一郎・井城泰一 (森林総合研究所林木育種センタ  
ー)、三浦真弘 (森林総合研究所林木育種センター東北育  
種場)、渡辺敦史 (九州大学大学院農学研究院)

25) 平成15年度開発したマツノザイセンチュウ抵抗性ク  
ロマツ品種の開発時評価とその実生後代に対する接種検  
定結果の比較

倉本哲嗣・松永孝治 (九州育種場)、大平峰子 (林木育種  
センター)、岡村政則 (関西育種場)、藤沢義武 (林木育  
種センター)

26) 小笠原諸島母島での希少樹種等の保存

生方正俊・加藤智子・平井郁明・栗田祐子・大谷雅人・  
板鼻直栄 (森林総研林育セ)

27) 日本産樹木 DNA バーコードによるニレ科、クワ科の  
種同定

吉村研介・鈴木節子 (森林総研)、勝木俊雄・吉丸博志 (森  
林総研多摩森林科学園)

28) 高密度で育苗したスギ培地付き苗の形態と初期成長  
近藤晃・伊藤愛・山本茂弘・望月靖郎 (静岡県農技研森  
林研セ)

29) 岐阜県産少花粉ヒノキ品種の密閉ざしにおける光量  
の影響

茂木靖和 (岐阜県森林研)

30) カリトリスのトランスクリプトーム解析

上野真義 (森林総研)、阪口翔太 (東大)、Mike Crisp (オ  
ーストラリア国立大学)、Lynda Prior (タスマニア大学)、  
David Bowman (タスマニア大学)、津村義彦 (森林総研)、  
井鷲裕司 (京大)

31) 既存次代検定林の解析による、育種区・スギ種苗配  
布区域の妥当性の検証

三浦真弘 (東北育種場)、花岡創・平岡裕一郎 (林木育種  
センター)、武津英太郎 (九州育種場)、磯田圭哉 (関西  
育種場)、千吉良治 (九州育種場)、井城泰一・高橋誠 (林  
木育種センター)、織部雄一朗 (東北育種場)、久保田正  
裕 (関西育種場)、倉本哲嗣 (九州育種場)、渡辺敦史 (九  
州大学)

32) 採種園設計プログラム「Mixed」の改良

高橋誠 (林木育種センター)

33) スギ若齢木の樹高成長フェノロジーの遺伝性

武津英太郎・松永孝治・倉原雄二・千吉良治・倉本哲嗣  
(林育セ九州)、高橋誠 (林育セ)

34) 三倍体ニワウルシの発見

黒河内寛之 (東京大学アジアセンター)、内山寛 (日本大学  
生物資源科学部)、長谷川幹夫 (富山県農林水産総合技術セ  
ンター)、齋藤陽子・井出雄二 (東京大学生圏システム学

専攻)

35) 佐賀県産スギ精英樹F1クローンの20年生次前後の成長

宮崎潤二・挽地あい子・小部弥太郎 (佐賀県林業試験場)、宮里学 (鹿児島県森林技術総合センター)、古澤英生 (宮崎県林業施術センター)、佐藤嘉彦 (大分県農林水産指導センター林業研究部)、倉本哲嗣・武津英太郎・千吉良治 (森林総合研究所林木育種センター九州育種場)、藤澤義武・高橋誠 (森林総合研究所林木育種センター)、渡辺敦史 (九州大学)

36) 九州地域で追加選抜したマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種の実生抵抗性及び種子生産性の評価

松永孝治 (林育セ九州)、千吉良治・武津英太郎・倉原雄二・倉本哲嗣 (林育セ九州)、大平峰子 (林育セ)

37) 小笠原諸島のテリハボクの攪乱された遺伝構造

鈴木節子・永光輝義 (森林総研)、須貝杏子 (琉球大)、加藤英寿 (首都大)、吉丸博志 (森林総研・多摩)

38) 分布の北限地におけるニッパヤシの遺伝的変異の実態

須貝杏子・井村信弥・石垣圭一 (琉大・熱生研・西表)、九石太樹・陶山佳久 (東北大院・農)、横田昌嗣 (琉大・理)、渡辺信 (琉大・熱生研・西表)

39) 花粉形成の制御に関わる低分子RNAの探索

伊原徳子・二村典宏・上野真義 (森林総合研究所)

40) サクラの栽培品種の遺伝的起源の推定

加藤珠理 (首都大)、松本麻子・吉村研介 (森林総研)、勝木俊雄・岩本宏二郎 (森林総研多摩)、河原孝行 (森林総研四国)、向井譲 (岐阜大)、津田吉晃 (イタリア CNR 植物遺伝研)、石尾将吾・中村健太郎 (住友林業)、森脇和郎 (遺伝学普及会)、城石俊彦・五條堀孝 (国立遺伝研)、吉丸博志 (森林総研多摩)

本大会の開催は、平成25年度「緑と水の森林ファンド」(公益社団法人国土緑化推進機構)の事業助成を受けて行われた。